

山口県デイサービスセンター協議会

# 令和7年度(2025年度)要望書

山口県における介護人材確保と通所介護サービスの持続可能性に向けて

# 深刻化する介護人材不足の現状

我が国は急速な少子高齢化と生産年齢人口の減少という構造的な課題に直面しており、介護サービスへの需要はかつてない規模で増大しております。厚生労働省の推計によれば、2040年度には約272万人の介護職員が必要とされる一方で、供給が追いつかず、大規模な人材不足が予測されております。

この全国的な潮流の中で、山口県はさらに深刻な状況にあります。令和4年時点での山口県の高齢化率は35.2%に達し、全国平均の29.0%を6.2ポイントも上回っております。これは全国で3番目に高い水準であり、我が国の約10年先の未来を既に迎えていることを示唆しております。

# 山口県における介護職員不足の推計

**35.2%**

**山口県の高齢化率**

全国平均29.0%を6.2ポイント上回る

**2,749**

**2026年度の不足数**

介護職員の需給ギャップ(人)

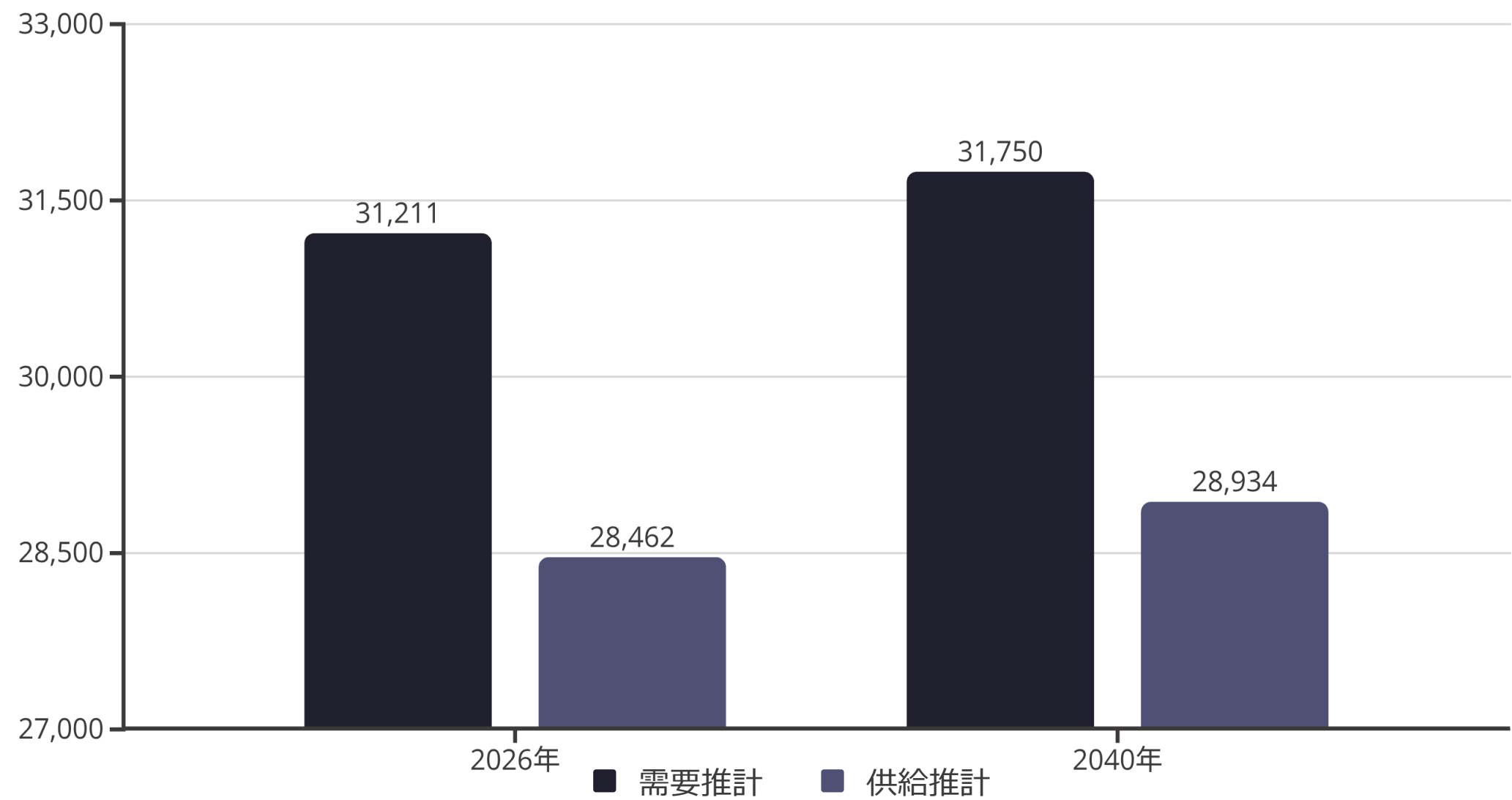
**2,816**

**2040年度の不足数**

さらに深刻化する人材不足(人)

県の推計によれば、山口県内では2026年度に2,749人、そして2040年度には2,816人もの介護職員が不足すると見込まれております。これは単なる統計上の数値ではなく、数千人の高齢県民が必要な介護サービスを受けられなくなる可能性を示唆する、社会インフラの根幹を揺るがす大きな脅威であります。

# 介護職員需給の将来推計



この表が示す不足数の推移は、一見すると緩やかに増加しているように見えますが、その内実にはより深刻な課題が潜んでおります。退職や離職による自然減を新規参入者で補うという、不断の「補充」の努力が織り込まれており、実際には数千人規模の新規採用と定着が継続的に必要だと推測されます。

# 要望事項

## 良質な通所介護サービス提供の存続に向けて

01

---

低賃金と事業所の経営不安の解決

02

---

介護職員の専門性の担保と社会的地位の向上

03

---

山口県介護分野におけるテクノロジー実装

04

---

公正性と信頼の確保

# 要望1:低賃金と事業所の経営不安の解決

## 根源的な課題

介護職員不足の最も根源的な原因の一つは、その処遇の低さにあります。介護職員の平均月給は全産業平均と比較して約8万円も低く、身体的・精神的に過酷な労働の対価として十分とは言えません。

この賃金格差は、新規参入を妨げ、既存職員の離職を促す強力な要因となっております。介護分野の有効求人倍率が全産業平均を大幅に上回る状況は、需要に対して賃金水準が低いために十分な供給がなされないという結果であります。

# 公定価格制度の限界

## 介護報酬の公定価格と物価や最低賃金とのミスマッチ

国が定める介護報酬制度により定められる価格が他の経済指標の変化と一致していない

## 価格転嫁の困難

物価高や人件費上昇をサービス料金に転嫁できない

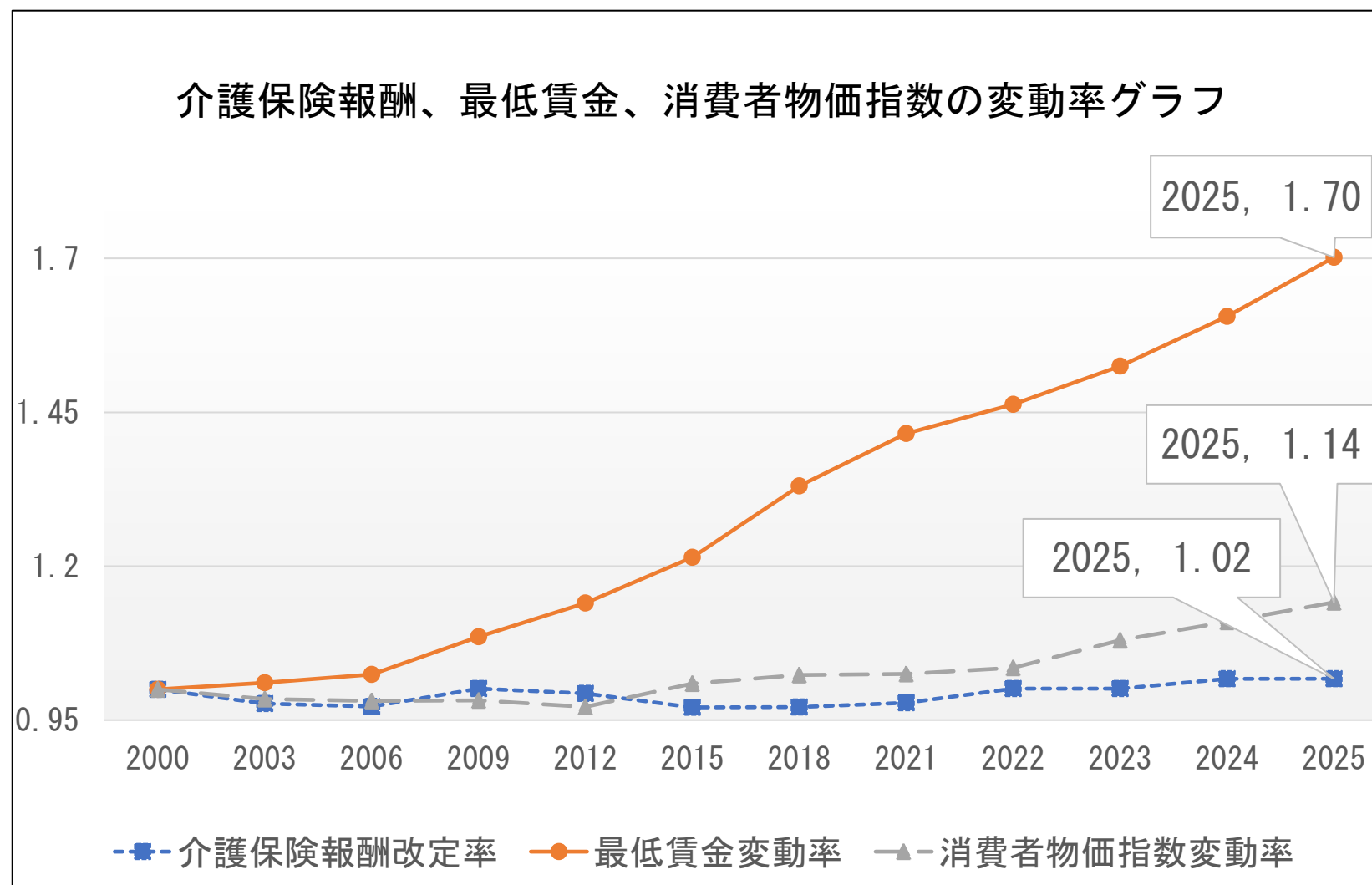
## 事業所の経営難

2022年に介護事業所の倒産件数が過去最多を記録

## 悪循環の発生

雇用不安定化、昇給機会の喪失、さらなる人材流出

# 介護保険報酬と経済指標の乖離



## 介護保険報酬

+ 2% (介護職員処遇改善交付金等開始及び廃止を含む)

## 最低賃金

+70%

## CPI (消費者物価指数)

+14%

介護事業は支出の約70%を人件費が占めますが、介護保険報酬の改定率は物価高騰や最低賃金上昇率に比べて極めて低く、適正とは言えません。

円安、光熱費・原材料費の高騰も加わり、事業継続は非常に困難な状況です。



# 最低賃金上昇の波及効果

## 直接的影響

- 人件費の高騰
- すべての消耗品・食品の価格上昇
- 事業委託費の増加

## 構造的問題

- 顧客への転嫁が不可能
- 事務費・事業費の膨張
- スタッフ全体の給与上昇抑制

## 労働環境への影響

- 「所得の壁」による勤務時間減少
- 年末の休日増加分を他の職員へ
- 常勤職員の休日返上、労働環境悪化

---

影響の大きい指数と実施された他の政策とその影響に基づいた審議を真剣に行っていただき、その計算根拠や全体への影響の考察の詳細を公表していただけるよう関係各省庁への働きかけをお願いいたします。

# 要望2:介護職員の専門性の担保と 社会的地位の向上

介護職は、高齢社会を支える上で不可欠な社会的意義を有しているにもかかわらず、その重要性に見合う社会的評価を得られていないのが現状であります。  
この社会的評価の低さは、前述の低賃金や過酷な労働環境と密接に結びついており、若年層が将来の職業として介護を選択することを躊躇させる一因となっております。

# 介護の不明瞭な長期的キャリア



## 現状の課題

経験や専門スキルの蓄積が明確な昇進や昇給に直結しない



## 職員への影響

給与を含め、将来の展望を描きにくく、モチベーションが低下

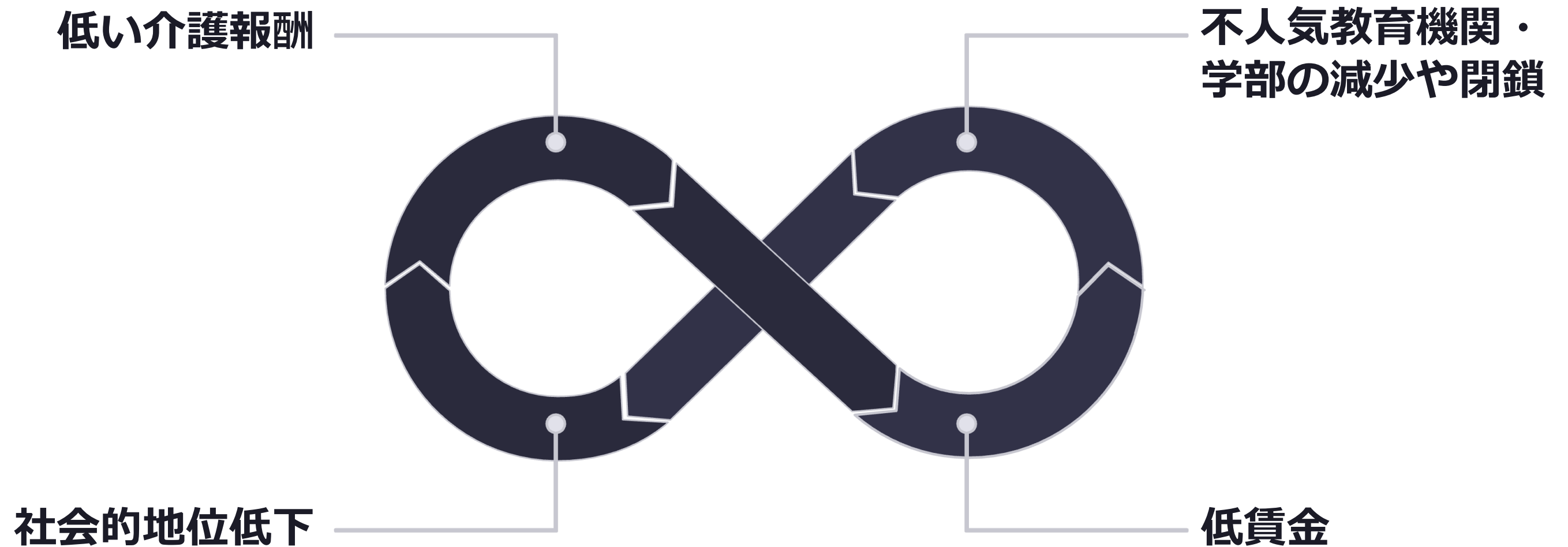


## 結果

長期的なキャリア形成を断念し、貴重な介護専門者が他産業へ流出

□ 世界保健機関(WHO)の「Dementia: a public health priority」においても、「認知症は介護者にとって大きな問題であり、保健・社会・経済・法律のシステムによる適切な支援が介護者には必要である」と述べられておりますが、十分なシステムは未だ整備されておられません。

# 負のフィードバックループ



# 産官学連携による専門性担保の仕組み

## 大学等教育機関

専門教育と研究



## 山口県

制度設計と支援



## 通所介護事業者

実践とフィードバック

この悪循環を断ち切るための一つの方法として、山口県においても産官学(「通所介護事業者」「山口県」「大学等教育機関」)が一体となった、長期にわたり介護の専門性を担保する仕組みが確立されることを要望いたします。

# 要望3:山口県介護分野における テクノロジー実装

介護現場における生産性向上と職員の負担軽減を実現するためには、介護テクノロジーの導入が不可欠です。

しかしながら、利用者の要望に応じて単に機器を導入するだけでは、十分な効果は期待できません。テクノロジーが真に現場の力となるためには、導入から活用、定着に至るまでの一貫したサポート体制の構築が極めて重要であると認識しております。

# テクノロジー導入の失敗要因

## トレーニング不足

購入後の適切なトレーニングやフォローアップが実施されない

## 操作方法の不明確さ

日々の業務フローへの組み込み方が不明確

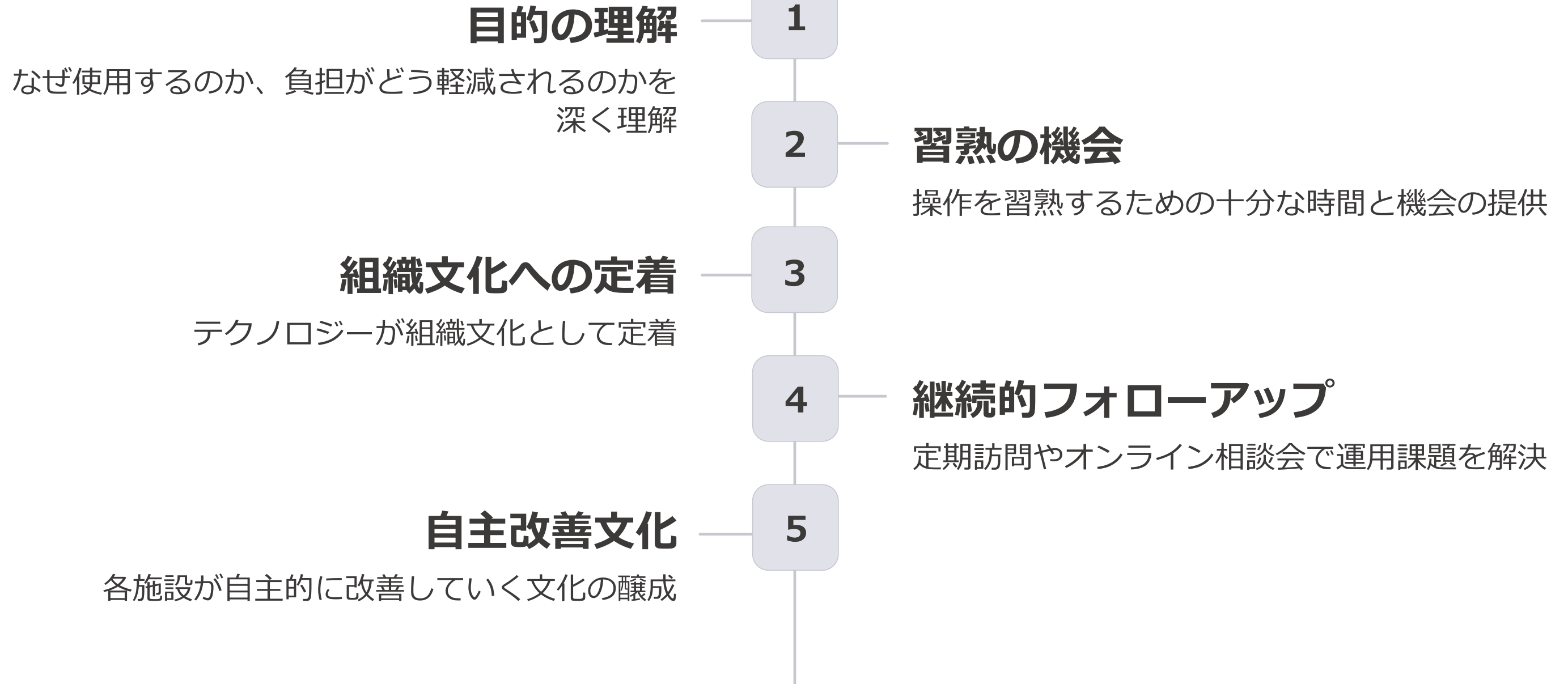
## 機器の未活用

高価な介護ロボットやセンサーが倉庫に保管されたまま

## 否定的印象の形成

「テクノロジーは役に立たない」という印象が定着し、将来的なデジタル化への抵抗感を生む

# 変革マネジメントとしてのテクノロジー導入





# 山口県介護生産性向上総合相談センターの強化

## 要望事項

- テクノロジー専門在住窓口の常設化
- ICTを活用した相談窓口の設置
- 県内先駆的介護事業者とのネットワークの設立

特に専門のIT人材を抱える余裕のない中小企業が大多数を占める通所介護事業者にとって、質の高い研修やコンサルティングを安価に利用できることは、テクノロジー導入と効率化のハードルを劇的に低下させます。

# 要望4:公正性と信頼の確保

## (1)監視・監督体制の強化と先進的モニタリングシステムの導入

介護保険制度の持続可能性は、サービスの質の高さと制度運営の公正性に対する県民の信頼の上に成り立っております。不正請求や不適切な雇用慣行を根絶し、倫理的な事業運営を促進するための強固な監視・監督体制を構築することは、労働環境改善と表裏一体の重要な事項であると存じます。

通所介護事業は事業者数の多さ、通所介護サービスご利用者数の多さなどから各市町村保険者の方々の尽力だけでも発見は難しいと想定できます。

# 先進的監査システムの段階的導入



## データ分析によるターゲット監査

既存の介護給付費請求データをAIで分析し、統計的に異常なパターンを自動抽出。監査資源を不正の蓋然性が高い事業所に集中させ、効率的かつ効果的な監査を実現します。



## ICT基盤の統合

県内の事業者に対して、標準化されたサービス記録・請求ソフトウェアの導入を補助金等で促進。将来的には、福岡市のように、同意を得た上でデータを連携させ、よりリアルタイムに近い形でのモニタリングを実現します。

## (2)倫理的行動の促進:実効性のある内部告発制度の確立



### 第三者機関による運営

通報の受付および一次調査を、県から独立した法律事務所や専門のNPO法人等に委託し、中立性と秘匿性を確保



### 多様な通報チャネル

電話、暗号化されたウェブサイト、郵送等、複数の通報手段を用意し、匿名での通報を公式に受け付ける



### 厳格な調査と保護

通報受理後の調査手順、関係機関との連携、通報者保護のための具体的な措置について明確なプロトコルを策定し公開

公正な監督体制の強化は、単に不正を働く事業者を罰するのみに留まりません。県が「不正は許さない」という断固たる姿勢を実効性のあるシステムで示すことは、業界全体の健全化を促進し、結果として介護職が誇りを持って働き続けられる環境を醸成することに繋がると考えます。